

事務事業評価表
令和5年度実施事業

理 事	課 長	係 長	担当者

事業名	都市計画審議会等運営事業					担当課	都市整備課
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち				担当係	都市計画係
施策項目	1	土地利用・市街地整備				計画期間	令和5年度 ～ 令和7年度
主な取組	1	将来に向けた土地利用方針の明確化				事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業		
	1	8	4	1	都市計画総務費		

目的と方針 【PLAN】	市の持続的発展に向け、市の特性と課題を踏まえた計画的な土地利用を推進するとともに、地域特性に応じた魅力ある市街地の形成を進めます。	
-------------------------	--	--

事業概要 【PLAN】	伊達市都市計画審議会は、本市の都市計画決定、変更にあたって、市長の諮問を受け、審議し答申する機関です。都市計画に関する重要事項等を審査することから、学識経験者等の第三者や市民からの公募による委員を委嘱し、調査及び審議を行います。
----------------	--

対象 【PLAN】	都市計画マスタープラン	意図 【PLAN】	市の将来都市像の実現に向けたまちづくりの推進
--------------	-------------	--------------	------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	市の持続的発展に向け、都市計画マスタープランに基づき計画的な土地利用の推進を図るため、都市計画審議会を定期的に開催する。
----------------------	--

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	400	350	350			
	一般財源	千円	0	0	0			
	事業費合計	千円	400	350	350			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
審議会開催回数 (7月・11月・2月の開催が基本)	回	実績値が 目標値 以上と なること	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	都市計画法第77条の2及び伊達市都市計画審議会条例に基づき設置し、市の諮問に応じ、都市計画に関する事項を調査審議する重要な会議である。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	学識経験者等の第三者や市民からの公募にて委員を委嘱しており、「市の将来都市像の実現に向けたまちづくり」の目標達成には有効な機関である。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	年3回以内の開催に審議案件を集約し、会議時間の短縮を図るため事前に審議内容を送付し、質問事項を事前提出していただくことにより、スムーズな会議進行に努めた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	公募による市民を委員に加えていることから、市民の直接の声を聴くことができ有効だと考える。また、今後は女性委員を増やし、女性ならではの目線でのまちづくりについての意見を取り入れられればと考える。
------------	----	-------------------------	--

整理番号
205

事務事業評価表

令和5年度実施事業

理 事	課 長	係 長	担当者

事業名	自立したまちづくりプラン策定事務					担当課	都市整備課
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち				担当係	都市計画係
施策項目	1	土地利用・市街地整備				計画期間	令和5年度　～　令和5年度
主な取組	1	将来に向けた土地利用方針の明確化				事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業		
	1	8	4	1	都市計画総務費		

目的と方針【PLAN】	市の持続的発展に向け、市の特性と課題を踏まえた計画的な土地利用を推進するとともに、地域特性に応じた魅力ある市街地の形成を進めます。		
事業概要【PLAN】	都市計画法第6条に基づき、都市の現況及び将来の見通しを定期的（5年に1回）に把握するための都市計画基礎調査を行います。		
対象【PLAN】	都市計画の基礎調査	意図【PLAN】	一体的な調和のとれた都市づくりを推進し、持続可能な土地利用を行う。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	・都市現況及び将来の見通しを定期的に把握するための調査を行う。 ・都市計画図の修正、更新を行う。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0				
	都道府県支出金	千円		0	0				
	地方債	千円		0	0				
	その他	千円		500	830				
	一般財源	千円		0	9,670				
	事業費合計	千円		500	10,500				

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】									
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
県北都市計画区域における市街化区域面積（用途地域面積）	h a	実績値が目標値以上となること	目標値	804.4					
			実績値	804.4					
			達成率	100.0%					

(2) チェック項目による評価【CHECK】									
	評価視点				評価の結果				
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				市の持続的発展に向け、地域特性に応じた魅力ある市街地の形成を進める上で、地区計画制度等を活用しながら適正な土地利用の誘導を図る必要がある。				
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				市街地整備に支障がないよう十分な配慮をするとともに、いたずらに開発を誘発することがないよう規制・誘導すれば有効性は高いものである。				
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				人口減少社会における都市計画制度のあり方については、様々な都市計画制度を検討し、自立したまちづくりに向けて調整を図る必要がある。そのため、都市計画再編のみではなく、定期線引き見直しなどの都市計画制度の活用を行っていく。				

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】									
今後の方向性	統合	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		令和5年度で自立したまちづくりプラン策定事業は終了し、令和6年度以降は都市計画諸費と統合して都市計画図の更新を行う。					

事務事業評価表
令和5年度実施事業

理 事	課 長	係 長	担当者

事業名	都市計画諸費					担当課	都市整備課
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち				担当係	都市計画係
施策項目	1	土地利用・市街地整備				計画期間	令和5年度 ～ 令和7年度
主な取組	2	計画的な土地利用の推進				事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業		
	1	8	4	1	都市計画総務費		

目的と方針 【PLAN】	市の持続的発展に向け、市の特性と課題を踏まえた計画的な土地利用を推進するとともに、地域特性に応じた魅力ある市街地の形成を進めます。	
-------------------------	--	--

事業概要 【PLAN】	各協議会に参画し、情報交換により諸業務の参考とします。（都市計画関係団体参画事業）
----------------	---

対象 【PLAN】	市民	意図 【PLAN】	一体的な調和のとれた都市づくりを推進し、持続可能な土地利用を行う。
--------------	----	--------------	-----------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	土地利用・市街地整備の満足度の確認手段の一つとして、市民の意識をアンケート調査で把握する。
----------------------	---

事業費【D0】		年度 単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	109	109	109			
	一般財源	千円	0	0	0			
	事業費合計	千円	109	109	109			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
土地利用・市街地整備の状況の満足度	%	実績値が目標値	目標値	17.2	19.0	20.0	21.0	22.0
		以上と	実績値	17.2				
		なること	達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	都市計画マスタープランに基づく土地利用の誘導及び市街地整備に対する市民の満足度をアンケート調査で把握し、事業に反映させて市民ニーズや社会的需要を考慮するため、必要性は高い。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	土地利用・市街地整備の満足度を把握するため、アンケート調査を通して、市民の直接の声を聴くことは、有効だと考える。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	・ 研修会においては、リモート会議を活用して交通費等の経費削減に努めた。 ・ アンケート調査においては、他部署での調査結果を利用して経費削減に努めた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	土地利用や市街地整備は民間事業者による開発が多いため、市の特性・課題を十分に踏まえた上で、社会環境の変化に柔軟に対応できるよう、土地利用関連計画の見直しを行い、地域特性に応じた魅力ある市街地の形成を進める必要がある。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
207

事務事業評価表
令和５年度実施事業

理 事	課 長	係 長	担当者

事業名	土地利用規制対策事業				担当課	都市整備課
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち			担当係	都市計画係
施策項目	1	土地利用・市街地整備			計画期間	令和５年度 ～ 令和７年度
主な取組	2	計画的な土地利用の推進			事業区分	補助
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	2	1	8	土地利用規制対策費	

目的と方針【PLAN】	市の持続的発展に向け、市の特性と課題を踏まえた計画的な土地利用を推進するとともに、地域特性に応じた魅力ある市街地の形成を進めます。					
-------------	---	--	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	適正な土地利用を推進し、無秩序な土地取引の防止を図ります。（国土利用計画法に基づく事務）					
------------	--	--	--	--	--	--

対象【PLAN】	市内の土地利用者	意図【PLAN】	適正な土地利用、無秩序な土地利用の防止			
----------	----------	----------	---------------------	--	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	国土利用計画法の規定に基づく適正な事務処理を行う。					
----------------------	---------------------------	--	--	--	--	--

事業費【D0】		年度		04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (予算)	07年度 (予算)	08年度 (予算)	09年度 (予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		100	132	70			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	0			
	一般財源	千円		4	3	3			
	事業費合計	千円		104	135	73			

（１）伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
国土利用計画法に基づく届出の進捗件数	件	目標値が実績値以上となること	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	7				
			達成率	100.0%				

（２）チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	国土利用法の規定に基づく事務処理のため必要性は高い。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	無秩序な土地取引の防止を図るため有効だと考える。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	県への進捗業務のため、速やかな事務処理が要求される。（受付後10日以内）

（３）今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	適正な土地利用が図られ、無秩序な土地利用を防止できる。
--------	----	-------------------------	-----------------------------

整理番号		事務事業評価表 令和5年度実施事業				理 事	課 長	係 長	担当者
208									

事業名	宅地耐震化調査事業				担当課	都市整備課				
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち				担当係	開発建築指導係			
施策項目	1	土地利用・市街地整備				計画期間	令和4年度～令和7年度			
主な取組	2	計画的な土地利用の推進				事業区分	全部委託			
予算科目	会計	款	項	目	大事業					
	1	8	4	1	都市計画総務費					
目的と方針【PLAN】	市の持続的発展に向け、市の特性と課題を踏まえた計画的な土地利用を推進するとともに、地域特性に応じた魅力ある市街地の形成を進めます。									
事業概要【PLAN】	住民の宅地災害に対する関心を高め、早期の変状把握、早期対応等による被害の防止・軽減を図ります。									
対象【PLAN】	優先度の高い6箇所の簡易地盤調査により危険度判定を行い、早期に第二次スクリーニングを行べき箇所を判別し実施する。				意図【PLAN】	令和7年度までに第二次スクリーニングを完了させる。				
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	令和6年度までに優先度の高い6箇所すべての簡易地盤調査を完了させるため危険度判定を行う。 令和7年度までに第二次スクリーニングを完了させる。									
事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)	
財源内訳	国庫支出金	千円		2,090	1,238	2,000				
	都道府県支出金	千円		0	0	0				
	地方債	千円		0	0	0				
	その他	千円		0	0	0				
	一般財源	千円		2,090	2,476	4,000				
	事業費合計	千円		4,180	3,714	6,000				
(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】										
指標名		単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
第二次スクリーニング計画にて優先度評価の調査箇所		箇所	目標値が実績値以上となること	目標値	1	4	2	—	—	
				実績値	1					
				達成率	100.0%					
(2) チェック項目による評価【CHECK】										
	評価視点				評価の結果					
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				平成7年の阪神・淡路大震災、平成16年の新潟県中越沖地震などから、大規模な盛土造成地の安全性の確認が必要とされている。					
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				盛土造成地の被害では、人的被害や財産被害、生活再建の遅れ、公共施設の機能喪失等が生じるとともに、復旧対策には多額の費用と労力を要していることから、事前の調査・対策を進めることにより、被害等を軽減し、復旧にかかるコストを低減できる。					
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				第二次スクリーニング計画で評価した優先度の高いAランク6箇所の簡易地盤調査を実施することにより、経過観察と第二次スクリーニングの実施箇所の判定を二段階で行う事によって調査費用の軽減を図ることができた。					
(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】										
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		第二次スクリーニングにより危険となった場合、滑落防止工事による補強が必要となる。今後市民説明、公表、工事の実施主体など、費用負担（国、市補助率）等が課題となる。						

整理番号
209

事務事業評価表
令和５年度実施事業

理 事	課 長	係 長	担当者

事業名	土地区画整理事業支援業務					担当課	都市整備課
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち				担当係	都市計画係
施策項目	1	土地利用・市街地整備				計画期間	令和５年度　～　令和５年度
主な取組	3	地域特性に応じた魅力ある市街地の形成				事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業		
	1	8	4	1	都市計画総務費		

目的と方針【PLAN】	市の持続的発展に向け、市の特性と課題を踏まえた計画的な土地利用を推進するとともに、地域特性に応じた魅力ある市街地の形成を進めます。						
-------------	---	--	--	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	東北中央自動車道伊達桑折ＩＣ周辺に新たな都市機能を誘導するため、広域交流拠点となる大型商業施設の誘致を前提とした土地区画整理事業を実施する伊達市堂ノ内地区土地区画整理組合に対して、技術的・財政的支援を行います。						
------------	---	--	--	--	--	--	--

対象【PLAN】	伊達市堂ノ内地区土地区画整理組合	意図【PLAN】	大型商業施設の誘致を図り、地元雇用の促進につなげる。				
----------	------------------	----------	----------------------------	--	--	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	技術的・財政的支援を行う。						
----------------------	---------------	--	--	--	--	--	--

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0				
	都道府県支出金	千円		0	0				
	地方債	千円		0	0				
	その他	千円		207,708	192,292				
	一般財源	千円		0	0				
	事業費合計	千円		207,708	192,292				

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
伊達市堂ノ内地区土地区画整理組合発注工事の進捗率	%	実績値が目標値以上となること	目標値	100.0				
			実績値	100.0				
			達成率	100.0%				

(２) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	市の持続的発展に向け、東北中央自動車道伊達桑折ＩＣ周辺に新たな都市機能を誘導します。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	新たな都市機能（大型商業施設）を誘導することにより、集客力を活かした周遊観光の展開、地元雇用の促進等に期待できる。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	土地区画整理事業の中で、周辺道路整備が同時に実施されている。

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	終了・完了	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	土地区画整理組合に対して技術的・財政的支援を行ったことにより、各管理者との協議・調整がスムーズに行えたことは評価できる。その一方で、事業全体の責任管理が希薄になったことが課題である。
--------	-------	-------------------------	---

事務事業評価表
令和5年度実施事業

理 事	課 長	係 長	担当者

事業名	都市計画諸費（再掲）					担当課	都市整備課
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち				担当係	都市計画係
施策項目	1	土地利用・市街地整備				計画期間	令和５年度　～　令和７年度
主な取組	3	地域特性に応じた魅力ある市街地の形成				事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業		
	1	8	4	1	都市計画総務費		

目的と方針 【PLAN】	市の持続的発展に向け、市の特性と課題を踏まえた計画的な土地利用を推進するとともに、地域特性に応じた魅力ある市街地の形成を進めます。
-------------------------	--

事業概要 【PLAN】	都市計画事業全般の業務執行に必要な経費（研修会等参加旅費、消耗品費）
----------------	------------------------------------

対象 【PLAN】	市民	意図 【PLAN】	一体的な調和のとれた都市づくりを推進し、持続可能な土地利用を行う。
--------------	----	--------------	-----------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	土地利用・市街地整備の満足度の確認手段の一つとして、市民の意識をアンケート調査で把握する。
----------------------	---

事業費【D0】		年度 単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	667	538	1,038			
	一般財源	千円	0	0	0			
	事業費合計	千円	667	538	1,038			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
土地利用・市街地整備の状況の満足度	%	実績値が 目標値 以上と なること	目標値	17.2	19.0	20.0	21.0	22.0
			実績値	17.2				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	都市計画マスタープランに基づく土地利用の誘導及び市街地整備に対する市民の満足度をアンケート調査で把握し、事業に反映させて市民ニーズや社会的需要を考慮するため、必要性は高い。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	土地利用・市街地整備の満足度を把握するため、アンケート調査を通して、市民の直接の声を聴くことは、有効だと考える。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	・ 研修会においては、リモート会議を活用して交通費等の経費削減に努めた。 ・ アンケート調査においては、他部署での調査結果を利用して経費削減に努めた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	土地利用や市街地整備は民間事業者による開発が多いため、市の特性・課題を十分に踏まえた上で、社会環境の変化に柔軟に対応できるよう、土地利用関連計画の見直しを行い、地域特性に応じた魅力ある市街地の形成を進める必要がある。
--------	----	-------------------------	--

整理番号		211		事務事業評価表 令和5年度実施事業		部長	課長	係長	担当者
事業名		公園管理事業				担当課		都市整備課	
基本目標		5 便利で快適に暮らせるまち				担当係		公園緑地係	
施策項目		1 土地利用・市街地整備				計画期間		令和5年度 ～ 令和7年度	
主な取組		3 地域特性に応じた魅力ある市街地の形成				事業区分		一部委託	
予算科目		会計	款	項	目	大事業			
		1	8	4	3	公園費			
目的と方針【PLAN】		市の持続的発展に向け、市の特性と課題を踏まえた計画的な土地利用を推進するとともに、地域特性に応じた魅力ある市街地の形成を進めます。							
事業概要【PLAN】		駅前公園施設の点検、修繕等により適正に維持管理します。							
対象【PLAN】		市民・公園利用者			意図【PLAN】		・利用者の利便性向上 ・安全で快適な施設の提供		
意図の実現のために必要なこと【PLAN】		市民などの公園利用者が、安全で快適に利用できるよう、適正な維持管理を行うこと。							
事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	8,700	0			
	その他	千円		561	561	3,361			
	一般財源	千円		25,495	22,755	17,634			
	事業費合計	千円		26,056	32,016	20,995			
(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】									
指標名		単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
公園緑地の整備状況の満足度		%	実績値が目標値以上となること	目標値	28.8	29.0	30.0	31.0	32.0
				実績値	28.8				
				達成率	100.0%				
(2) チェック項目による評価【CHECK】									
		評価視点				評価の結果			
必要性		・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				利用者の利便性向上や、市民交流の憩いの場として、安全で快適に利用できるよう、必要性の高い維持管理事業である。			
有効性		・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				地域コミュニティ形成、健康づくりの拠点として寄与するとともに、休憩所、トイレ等便益施設としての機能を果たしており、今後も一定の社会貢献度が期待される。			
効率性		・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				除草作業や日常の簡易な点検等について、地元住民の協力を得ながら、費用を抑えて維持管理を行うことができた。			
(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】									
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など			日常清掃や除草作業を行うとともに、故障箇所の修繕や老朽化した遊具の撤去を行い、適正な維持管理を図ることができた。 遊具の老朽化が著しいため、明確な優先順位のもと順次撤去作業を進めていく必要がある。				